# 北広島市の近未来語る
# 倶楽部講演会で上野市長

北海道倶楽部主催の特別講演会が２月９日、東京・永田町のアイオス永田町で開かれ、北広島市の上野正三市長が「北広島市の近未来展望について」と題して講演した＝写真。

上野市長は今後の街づくりを巡り、「北海道ボールパークＦビレッジと連携、新たな価値を創造していきたい」と述べた。懸案の新駅については「５年後をめどに開業できるよう、ＪＲ北海道と協議している」ことを明らかにした。

講演会には会員を中心に約50人が参加。上野市長は北広島市の歴史を紹介した後、プロ野球北海道日本ハム（**北海道倶楽部会員**）の本拠地エスコンフィールドを軸にした「北海道ボールパークＦビレッジ」について、「２０１５年から誘致運動を始めた。全面天然芝で天然温泉や、サウナ、ホテルも備えた世界唯一のボールパーク」と自慢した。

エスコンフィールドは２０２３年３月末開業した




が、昨年１年間で３５０万人が来場。北広島市への経済効果は５００億円、道内全体では１０００億円に上ったという。

雇用面への波及も大きく「３５００人が施設内で働いている。うち５００人は北広島市民だ」とエスコン効果を披露した。（本紙４面広報面参照）